

西小だより

よく考え 仲間とともに やりぬく子

歴史に触れる修学旅行

校長 水野 聰

11月27日（木）から28日（金）にかけて、6年生が一泊二日で奈良・京都へ修学旅行に行きました。6年生として‘きりかえを大切にして、全員が思い出に残るような修学旅行にしよう’という願いのもと‘一致団結’というスローガンを立てて出かけました。私は引率者として一緒に参加し、出発式では、奈良・京都で‘歴史を感じてきてください。’と話しました。

今更ではありますが、奈良・京都は歴史上、日本の政治を大きく動かしたところです。6年生が社会科（歴史分野）で学習した法隆寺（奈良）は、1,400年前に聖徳太子が創建した寺。1,200年前、東大寺（奈良）の大きな大仏の目に魂を入れるために、遠くインドや中国の僧が命がけでやってきて開眼式を行ったことを覚えている人は多いと思います。金閣（京都）は600年前、室町幕府の將軍足利義満が造営した寺。二条城（京都）は江戸幕府15代將軍の徳川慶喜が政権を武士から朝廷へ返上したところ等々。歴史上の人物が昔、実際に目の前にある建物を見たり柱を触ったり床を歩いたりしていたかも知れない。そんな過去の歴史を現代に引き寄せられる貴重な体験ができる素敵な修学旅行にしてほしいと話しました。日本中の小・中学生や高校生のほとんどが修学旅行で奈良・京都へ行くのは、今の日本の礎となった歴史的建造物を見たり触れたりできるからです。授業で学習したところや教科書に載っていた写真と同じ光景に心躍る子が多くいました。もちろん、スローガンを達成するための‘けじめ’‘あいさつ’‘協力’を意識しながら、奈良公園での班別研修では、自分たちで立てた計画に沿って見学や買い物で楽しんだこと、宿で豪華な夕食を囲んで楽しい会話をしながら食べたこと、友達と夜遅くまで話したこと、清水寺の舞台から下方を覗き込んで知った高さに驚いたこと、太秦映画村で時代劇に出てくる町の様子やお侍さんが歩いている様子に思わず笑みが出たこと等、たくさん思い出づくりができました。私にとって小学校6年生の修学旅行は今でも鮮明に覚えている懐かしい思い出です。きっと西小の子どもたちも大人になった時に同じように思うことでしょう。とてもたくさんのがんばった修学旅行でした。



人権について

12月3日、全校で「ひびきあい集会（人権集会）」を行いました。児童が「笑顔（人権）の花を咲かせよう」をテーマに仲間のよさに気づき、人として‘人権感覚を磨く’‘心を育てる’‘他の心を大切にする’取組です。

昨今の世の中、SNS（LINE、インスタグラム、TikTok等）により、人の心を傷つけるような間違った使い方で人権を脅かすようなことが話題となっています。特に、自分が誰であるか名乗らなかったり、他人の名前を語ったりして人の心を傷つけることが簡単にできることもあります。西小の子どもたちが将来、他人を傷つけるような大人になってはいけません。保護者の皆様にお願いです。スマートフォンの有無に問わらず「自分が‘されて嫌なことは人にもしない’」ということをご家庭でもお子様に声かけをお願いします。

また、スマートフォン等の使い方についても指導と見届けをお願いします。学校としてもこれまで同様、継続的に情報機器の使い方についての指導を行っていきます。悲しい思いをする子どもを作らないためにも、どうぞよろしくお願ひします。